

# 令和7年度 かわまち大賞に札幌開発建設部管内の取組が初受賞

- 『かわまち大賞』は、全国で進められている「かわまちづくり」※（303か所）の中から、他の模範となる先進的な取組を国土交通大臣が表彰するものです。
- 砂川地区かわまちづくり（砂川市）が、今回、管内で初の受賞となりました。
- 令和8年1月19日、国土交通省国土交通大臣室にて表彰式が行われました。（当部より、滝川河川事務所長が立席）

※「かわまちづくり」  
地域が地域が持つ「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村や民間事業者、地域住民と河川管理者が連携の下、「河川空間」と「まち空間」が融合した賑わいある良好な空間形成を目指す取組です。



国土交通省ホームページより引用

受賞者と記念撮影（右から2人目：飯澤 砂川市長）  
※左は静岡県伊豆の国市



国土交通省ホームページより引用

砂川市長に授与する金子大臣

## ○評価のポイント

遊水地を活かしたかわまちづくりの事例として貴重で、さらに結氷した湖面での活動や冬まつりの開催等の冬季活用を進めている点は、水辺利用における季節格差への対応例として先進的であり、今後のかわまちづくりの参考となる。

## ○表彰式後の懇談において、金子大臣からのコメント

「どちらの地区も「かわまち大賞」にふさわしい取組である。引き続き、全国の模範として川を活かしたまちづくりを進めていただきたい。」

国土交通省ホームページより引用